

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
国語・現代の国語		1	2	東京書籍・新編現代の国語
科目の概要と目標		<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	1 自己を見つめる ・こそめスープ ・気になるニュースについて話そう	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の思いの変化に注意しながら、本文を通読する。 ・最近のニュースについての情報を収集し、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 	
	2 他者に出会う ・未来をつくる想像力 ・水の東西 ・集めた情報の内容を検討して意見文を書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考える「社会」とはどのようなものか理解する。 ・日本文化について興味や関心をもったことを、発表する。 ・「課題」の中から興味・関心のあるテーマを一つ選び、文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとすることができる。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 	
	3 言葉と生活 1 ・分かりやすい説明をしよう ・異なる種類の文章を読み比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える。 ・複数の文章を読み比べ、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 ・進んで複数の文章を読み比べることを理解し、学習課題に沿って異なる種類の文章の書き手の意図を解釈し、自分の考えを深め、発表しようとするすることができる。 	
2 学期	4 視野を広げる ・スキマが育む都市の緑と生命のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市部のスキマ」と「都市部の公園」の違いを、生態系に果たす役割という観点を押さえながら読み取り、整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 	
	・無彩の色	<ul style="list-style-type: none"> ・色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 	

	<p>5 社会と関わる</p> <ul style="list-style-type: none"> 鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう <p>6 言葉と生活 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 発想を広げる方法を使って話し合おう 新聞記事を読んで意見文を書こう 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いを考える。 海での漁の様子を伝える文章を読み、自然の中での労働について理解を深める。 「憧れの職業」について調べ、整理してまとめるまでの例を参考に、文章の書き方を学習する。 発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。 記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表することができる。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
3 学 期	<p>7 世界とつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> 美しさの発見 りんごのほっぺ 読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう <p>8 未来に目を向ける</p> <ul style="list-style-type: none"> 不思議な拍手 真の自立とは 資料を活用して発表しよう 	<ul style="list-style-type: none"> 「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を考える。 出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。 「課題」から紹介する対象を決め、資料を調べる、アンケートを取るなどして情報を収集し、紹介文を書く。 人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。 「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを発表する。 「課題」の中から発表の形式を一つ選び、調査内容を模造紙などにまとめ、ポスターを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。 積極的に紹介文に必要な情報を収集し、学習の見通しをもって情報を取捨選択し、読み手の助言をもとに、よりよい文章を書くことができる。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめることができる。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。